計画の名称 14 奥州市内における道路施設の計画的な補修・保全(防災・安全)										
計画の期間 平成22年度~平成26年度(5年間) 交付団体 奥州市										
計画の目標										
奥州市内における道路施設の補修を行うことにより、市民の安全安心な暮らしを確保する。										
3.00 () () () () () () () () () (
計画の成果目標(定量的指標)										
・道路機能の保全を行う必要のある箇所に対する改善整備率										
定量的指標の定義及び算定式	· 空县6	1指標の現況値及び	日趰店							
た 里 17 1日 宗 ツ た 教 次 U ・	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考						
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)							
道路機能の保全を行う必要がある箇所に対する改善整備率	(1122 = 1/1)	(11247)(1)	(11207)(7)							
(改善整備等) = (改善整備済延長 / 要改善計画延長) × 100	0%	87.0%	100.0%							
計画により新たに歩道整備を予定している路線数 (No.14奥州市民の快適で安心な暮らしを支える道づくりと共通指標)										
可回により利にに少担定開せずたしている時候数 (180.14 矢川中氏の)人題(女心な春りしせえんるほう)、りて宍辺相様)	5路線	8路線	11路線							
	JAN DAO	O PULLAR	1141/24							
全体事業費 合計 4,236百万円 A 4,224百万円 B 0百万円 C 12百万円	効果促進事	業費の割合		0.3 %						
全体事業實 (A+B+C) 3,596百万円 A 3,584百万円 B 0百万円 C 12百万円	C/ (A	+B+C)		0.3 %						
•	=									
事後評価										
事後評価の実施体制、実施時期 事後評価の実施時期										

)事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期	
		平成28年5月
奥州市都市整備部土木課にて実施	公表の方法	
		奥州市ホームページにて公表

交付対象																		
基幹	事業																	
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	道路	省略	要素となる事業名 (事業箇所) ()		事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接	于人口	種別	工種			(延長・面積等)	1154.3.1.3.1	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
14-A2	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	公安	(2) 北鵜ノ木西田線	化石工区	五丁区 歩道整備 L=1.2km	奥州市						481	
			2 47 7					() = 14. ()	,=,	歩道整備 L=0.8km	2 47			-		1	369	
4-A13	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(1) 松堂八幡線 光大寺工区 歩道整備 L=0.7km	奥州市	-					120			
										歩道整備 L=0.9km							72	
14-A14	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(他) 根岸栄町線	根岸工区	歩道整備 L=0.5km 歩道整備 L=0.5km	奥州市						153	
	ХЕР П	/1/	JC/1111*	I		1112		(10) 10) 700	12/1		2271111						111	
4-A15	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(他) 野中前新山前線	田高工区	歩道整備 L=0.6km	奥州市						104	
								,		歩道整備 L=0.6km							96	
14-A16	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(他) 下松原鶴田線	谷地工区	歩道整備 L=1.1km	奥州市						199	
	~	723	20/11-11-					(12)		歩道整備 L=0.9km	20,1111						176	
14-A17	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(1) 衣川橋六道線	向舘工区	歩道整備 L=1.4km	奥州市						178	
	X РП	/1/	20/11/14	I		111. 1 1 1 1 1	~~	(1) 20,1110,120,0	1. 1Hh I	歩道整備 L=0.8km	20/11/14						139	
14-A18	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(他) 田中上野線	田中工区	歩道整備 L=0.7km	奥州市						114	
I MIO	ルニトロ	лх	大川市	巨灰		111111111111111111111111111111111111111	人女	(匠) 田「上以参	HITE	歩道整備 L=0.7km	大川市						111	
14-A19	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	修繕	(1) 自鳥線外		舗装修繕 L=18.3km	奥州市						446	
i i nio	AE PU	/100	2/1111	[E.J.X		111111111111111111111111111111111111111	19/10	(1) [[] [[] [[] [] [] [] []		舗装修繕 L=21.9km						461		
4-A29	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(他) 河ノ畑北高大寺線	河ノ畑工区	歩道整備 L=0.4km	奥州市						76	
										歩道整備 L=0.4km							35	
14-A30	道路	一般	奥州市	直接		市町村道	交安	(他) 立石竹沢線	立石工区	歩道整備 L=0.2km 歩道整備 L=0.3km	奥州市						13 24	

14-A31	道路 一般 奥州市		直接		市町村道	修繕	八日市北天間線外	橋梁補修 23橋	奥州市						279		
14 A51	坦坦	ЛХ	大川川	旦汝		111117171	沙府	人口口は石の人向がた	橋梁補修 0橋	大川川						0	H25より別パッケージ計画にて実施
14 429	道路	一般 奥州市 直接			市町村道	修繕	(1) 十文字秋成線外	舗装修繕 L=60.1km	奥州市						1,990		
14-A32	坦鉛	一月又	央州川	100 直接 101型	川町竹垣	修裕	(1) 十叉于秋风脉外	舗装修繕 L=45.5km	契州市						1,990		
14 494	道路	一般	eta .l.l. eta	直接		市町村道	交安	中野線他9路線	歩道整備 L=0.4km	奥州市						71	
14-A34	坦鉛	一月又	奥州市	旦.1女		川町竹垣	父女	一	歩道整備 L=0km	央加加						0	H25より別パッケージ計画にて実施
																4, 224	
													合計			3, 584	
B 関連	社会資本	整備事業															
番号	事業	地域	交付	直接	古米本	省曜	咯	西まし みて 東光々	事業内容	市町村名		事業実	施期間(期間(年度)		全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接	事業者	工利	锺	要素となる事業名	(延長・面積等)		H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
													合計			0	
																1	
番号	一体的に	実施する	ことによ	り期待さ	れる効果												備考
																	¥.ii. ÿ
C 効果	促進事業																
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	:者 省		要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実施期間 (年度)				全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接	7.1	工利	锺	女がこっての子が石	(延長・面積等)	1144.2.1.1.2.1	H22	H23 H2		H24 H25 H26		(百万円)	
14-C2	調査	一般	奥州市	直接		調	本	路面性状調査	調査 L=60.1km	奥州市						7	
14 02	刚且	ЛХ	大川川	旦.汝		D/HJ _	EL.	四田江小門五	調査 L=151.1km	大川川						3	
14-C1	計画・調査	一般	eta .l.l. eta	直接		計画・	細木	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	/女/关利·西/李/宁	奥州市						9	
14-01	計画・調査	一州又	奥州市	旦佞		計画•	调宜	備采文寿印化修繕計画 來及事業	修繕計画策定	央州市						9	
										•						16	
													цн			10	
番号			ことによ														備考
14-C2	道路の路	面性状態	査を行い	、生活基	盤となる	直路の舗装	を修繕を	実施する事により、快適で安全・安心な讠	 直行を確保する。								

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

- I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状 ・通学路の歩道整備により、児童通学の安全性が向上した。 : 道路保全の必要がある路線の改善を進めた「舗装修繕」事業では、クラックや轍ぼれの段差等の解消が図られ安全な走行環境の向上に寄与した。

	要がある箇所に対する改善整備率を100%(H26)を目指す。	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出	・予定通り整備の改善を実施できた。	ĺ		
		最終実績値	100%	た要因	17. 足通り整備の以告を失慮 くさた。			
		新たに歩道を設置する路 線を5路線(H22)から11路	最終目標値	11路線		・歩道整備予定路線数については、H25年度に計画が通常分と防災安全分に分かれたこと及び14-A34の要素事業についてH25年度より別パッケージ計	ĺ	
		Rで5路線(H22)が611路 R(H26)に増加	最終実績値	9路線	た要因	画に移行し整備を実施した経緯から歩道整備路線数の目標値に届かなかったものである。		

- Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)
- ・橋梁長寿命化修繕計画を策定したことにより、各箇所の橋梁修繕計画が示され効果的な橋梁修繕を進めることができた。
 - ・路面性状調査を実施したことにより、修繕箇所が特定され効果的な舗装修繕が実施できた。

3. 特記事項(今後の方針等)

・引き続き、事業継続し通学路の歩道整備を進め歩行空間の確保を図り、道路舗装の老朽化対策も計画的に実施し安心安全な道路環境の保全を進めていく。

(参考図面) 活力創出基盤整備

